

ちきゅうけん
第10回 地球研東京セミナー

地球環境と 生活文化



インターネット
同時配信を行いません。
<http://www.chikyu.ac.jp/>

——人新世における学び

東京大学駒場キャンパス

会場 アドミニストレーション棟3階 学際交流ホール

〒153-8902 東京都目黒区駒場 3-8-1

「私たちが知的に重視するもの、忠実さ、愛情や信念が内側から変わらずして、倫理観が転換したことなどなかった」—環境倫理学者アルド・レオポルドの言葉です。

作られた物を消費する力から、既にある物を探し出す力へ。私たちが価値を置く力が変わるとき、私たちの倫理観にもきっと大きな変化が訪れるはず。物事は今より少しゆっくりと進むでしょう。そこにあるのは、速度を落とす中で気づくことに価値が置かれる未来です。

日々の暮らしも、デザインも、私たちはしばしば、その答えを「シンプルさ」に求めます。しかし、倫理観に変化が訪れた未来を構想するには、「シンプルに生きるとはどういうことか」をも問わねばならないでしょう。この問いを深めるべく、本セミナーでは、無印良品の商品開発に携わってきた矢野直子さんと、哲学者鞍田崇さんによる講演と対話、大学院生や研究者による研究成果のポスター発表を行います。これらを通して、日常の中の様々な気づきと地球規模の環境問題とをつなぐものとは何かを、皆で考えてみませんか。

日時

2018

12/15 Sat

13:00~17:00

入場無料・申込不要

基調講演



ローカルとグローバル、 今に生きる民具を考える。

矢野 直子

株式会社良品計画 生活雑貨部 企画デザイン室長

話題提供



いまなぜ民藝か？

鞍田 崇

明治大学理工学部 准教授

主催：大学共同利用機関法人 人間文化研究機構 総合地球環境学研究所

共催：東京大学大学院博士課程教育リーディングプログラム「多文化共生・統合人間学プログラム (IHS)」

地球環境と生活文化——人新世における学び

プログラム

13:00 挨拶

もりやま たくみ
森山 工
やすなり てつぞろ
安成 哲三

東京大学大学院博士課程教育リーディングプログラム「多文化共生・統合人間学プログラム (IHS)」コーディネーター
総合地球環境学研究所 所長

13:20 ポスターフラッシュ発表(各2分)

14:00 ポスター展示

事前に下記のキーワードで募集した、地球と地域の持続可能性にかかわる様々なテーマによる、大学院生や研究者のポスターの展示と、フラッシュ発表を行います。

日常、身近、暮らし、ローカル、簡素、素朴、シンプル、バランス、対話、インクルーシブ、生活文化、想像力、共感、美学、人新世、地域社会、コミュニティ、地域創生(地域おこし、地域振興)、市場経済、資本主義、commons、自然環境保護・保全・再生、社会環境、生活環境、人間と社会にかかわる歴史

15:00 **基調講演** ローカルとグローバル、今に生きる民具を考える。



やの なおこ
矢野 直子 株式会社良品計画 生活雑貨部 企画デザイン室長

東京都生まれ。多摩美術大学卒業後、1993年、株式会社良品計画入社。2013年より、生活雑貨部企画デザイン室長を務める。2014年より多摩美術大学統合デザイン学科非常勤講師。

15:30 **話題提供** いまなぜ民藝か？



くらた たかし
鞍田 崇 明治大学理工学部 准教授

兵庫県生まれ。京都大学大学院人間・環境学研究科修了。専門は、哲学・環境人文学。地球研を経て、2014年より現職。著書に、『民藝のインティマシー』(明治大学出版会 2015)、『「生活工芸」の時代』(共著・新潮社 2014)など。

16:00 休憩 (10分)

16:10 **対談** 地球環境と生活文化 矢野 直子 / 鞍田 崇

かしたに しんじ
司会：**梶谷 真司** 東京大学大学院総合文化研究科 教授

17:00 閉会

※当日はネット配信、記録・広報用の写真の撮影を行います。あらかじめご了承ください。

会場：東京大学駒場キャンパス
アドミニストレーション棟3階 学際交流ホール

〒153-8902 東京都目黒区駒場 3-8-1

アクセス

・京王井の頭線 駒場東大前駅 東大口よりすぐ



【お問い合わせ】



大学共同利用機関法人 人間文化研究機構
総合地球環境学研究所

〒603-8047 京都市北区上賀茂本山 457-4
広報室 tel: 075-707-2128

※平日の8:30~17:00の間にお問い合わせください。